

第2章

北九州市の高齢者を取り巻く状況

1 データから見る北九州市の高齢者の状況

(1) 高齢化率の上昇

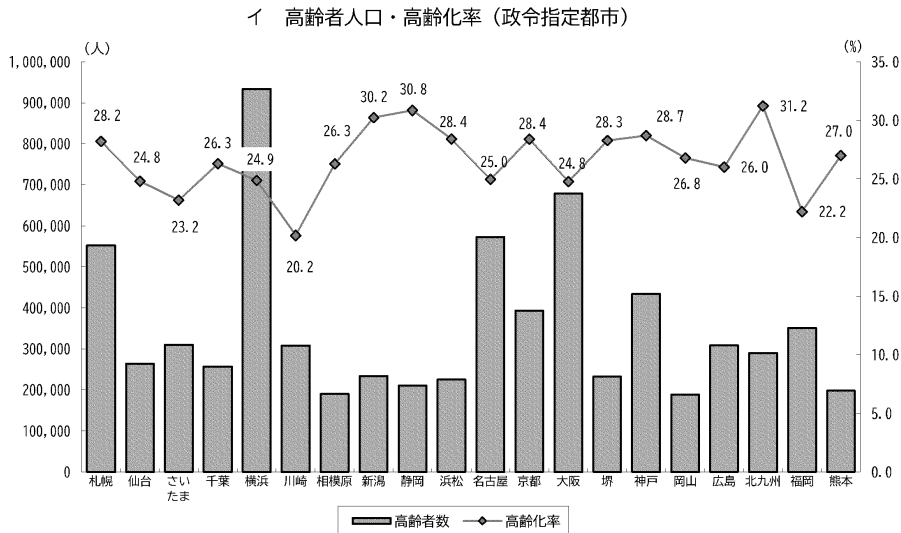
高齢化率:政令市1位
人口の約3人に1人が高齢者

高齢者数ピークは2025年
85歳以上は2040年まで
増加予測

この20年間で単身高齢
世帯が1.7倍に増加

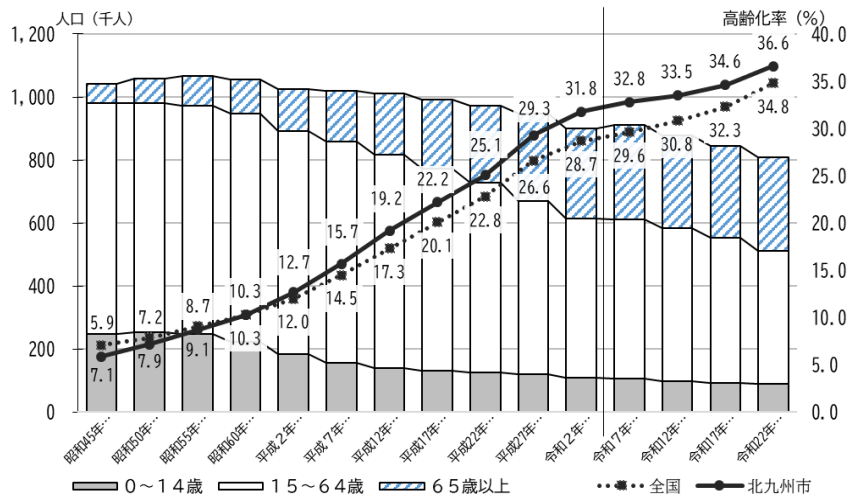
- 本市の高齢化率（総人口に占める65歳以上の人口割合）は、平成2（1990）年に全国を上回り、その後も一貫して全国よりも高い水準で推移し、令和2（2020）年には人口の約3人に1人が高齢者となっています。
- 65歳以上の高齢者に占める75歳以上高齢者の割合は、令和2（2020）年国勢調査では52.6%と5割を超え、85歳以上は令和22年（2040）年まで増加が見込まれています。
- 高齢者単身世帯数は、平成12（2000）年から令和2（2020）年で1.7倍まで増加しています。

【図表1 高齢者人口・高齢化率 政令市比較】



【出所】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（令和5年1月1日現在）」

【図表2 本市の人口及び高齢化率の推移】



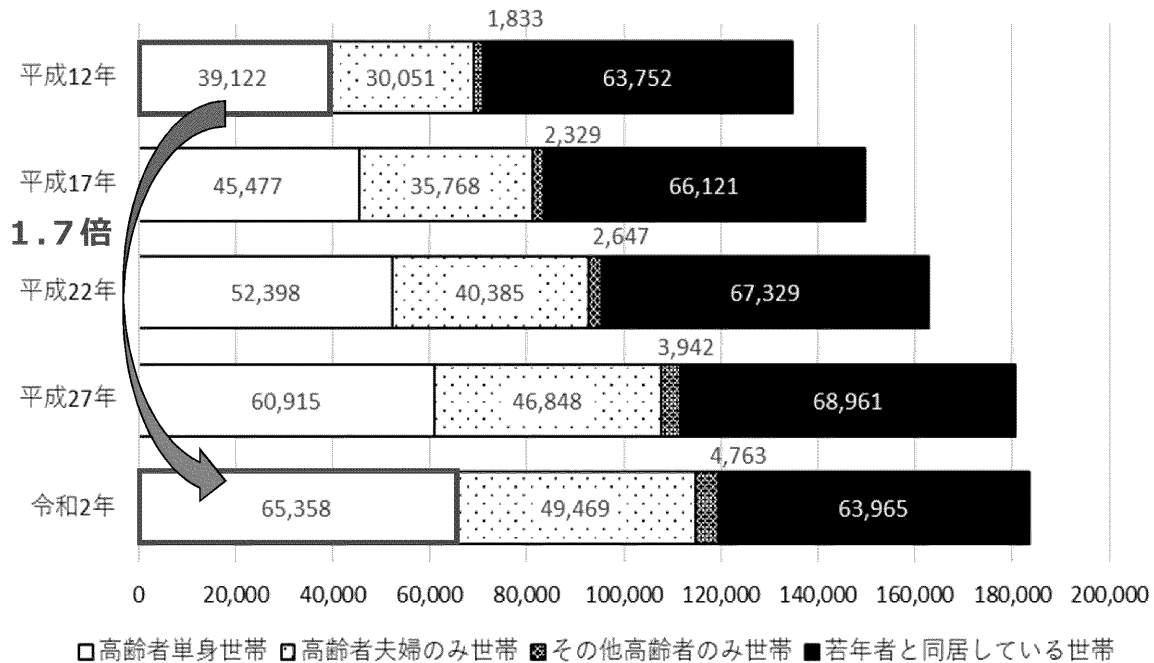
【【出所】総務省「国勢調査」（各年10月1日現在） ※年齢不詳者は年齢区分別人口に含まない
2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所、北九州市：「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」、全国：「日本の将来推計人口（令和5年推計）」のうち出生・死亡ともに中位の推計

【図表3 本市の人口及び高齢化率の推移】

	H27年 (2015)	R2年 (2020)	R7年 (2025)	R12年 (2030)	R17年 (2035)	R22年 (2040)
総人口	961,286	939,029	909,840	877,426	842,929	807,022
0～14歳	120,140	109,590	105,911	98,838	92,741	88,585
15～64歳	559,099	503,800	505,394	484,301	458,566	422,797
65～74歳	143,646	135,650	118,322	106,874	109,738	120,924
75歳以上	138,401	150,527	180,213	187,413	181,884	174,716
75-84	96,653	99,504	119,342	118,478	99,342	90,850
85以上	41,748	51,023	60,871	68,935	82,542	83,866
65歳以上 (65歳以上に占める 75歳以上の割合)	282,047 (49.1%)	286,177 (52.6%)	298,535 (60.4%)	294,287 (63.7%)	291,622 (62.4%)	295,640 (59.1%)
高齢化率	29.3%	31.8%	32.8%	33.5%	34.6%	36.6%

出所：国勢調査(総務省)／国立社会保障・人口問題研究所

【図表4 高齢者のいる世帯の推移】



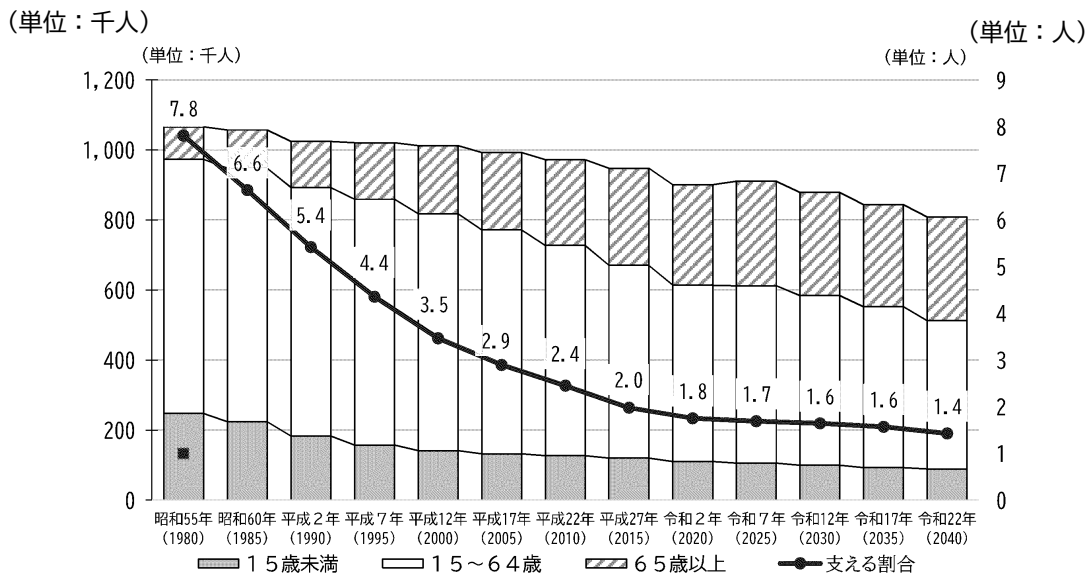
【出所】総務省「国勢調査」(各年10月1日現在)

(2) 生産年齢人口の減少

ますます減少が予測される労働人口

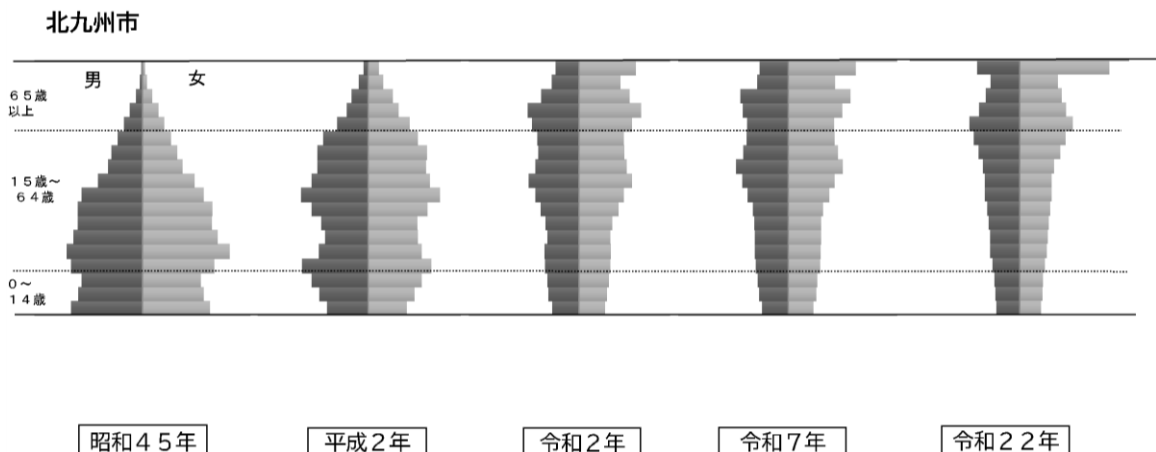
- 総人口は、昭和 57 (1982) 年頃までは社会動態の減少分を自然動態で補うことで維持していましたが、近年では、大学等を卒業した若年者や、転職期とされる 30 代での転出超過といった社会動態の減少分を自然動態で補うことが難しくなり、人口減少が続いています。
- 年少人口 (0~14 歳) や生産年齢人口 (15~64 歳) は、今後も減少を続けると推計されています。高齢者 (65 歳以上) 1 人に対し、現役世代 (15~64 歳) は、昭和 55 (1980) 年の 7.8 人が、令和 2 (2020) 年には 1.8 人となっています。今後も現役世代の割合は低下を続け、令和 22(2040)年には、高齢者 1 人に対し、現役世代が 1.4 人になると見込まれています。

【図表5 65歳以上人口を15~64歳人口で支える割合】



【出所】2020年までは国勢調査(総務省)、2025年以降は、国立社会保障・人口問題研究所 本市:「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」

【図表6 人口ピラミッド】



【出所】総務省「国勢調査」(各年10月1日現在)

(3) 平均寿命と健康寿命

平均寿命・健康寿命ともに延伸傾向

- 本市の平均寿命は、昭和 40（1965）年以降、一貫して延伸しています。
- 平均寿命と健康寿命の差の日常生活に制限のある「不健康な期間」については、平成 22(2010)年から令和元(2019)年までの 9 年間で、男性が 10.39 年から 8.50 年と 1.89 年、女性が 14.00 年から 11.43 年と 2.57 年短縮しています。
- 平均寿命・健康寿命ともに、女性が男性を上回っています。

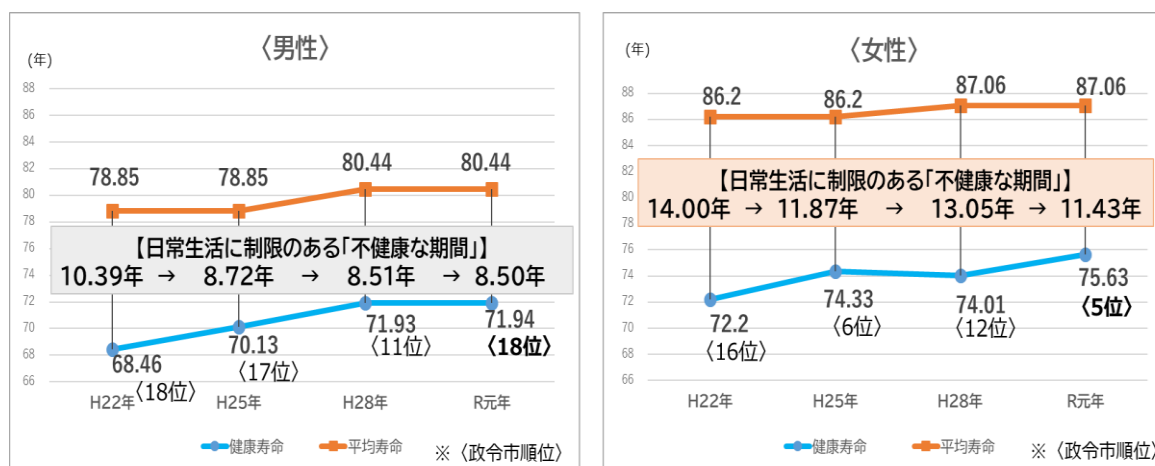
【図表 7 平均寿命（0 歳の平均余命）】

(単位：年)

年次	北九州市		全国	
	男性	女性	男性	女性
昭和 60 年 (1985)	73.94	80.66	74.95	80.75
平成 2 年 (1990)	74.73	81.91	76.04	82.07
平成 7 年 (1995)	75.82	83.04	76.70	83.22
平成 12 年 (2000)	77.00	84.21	77.71	84.62
平成 17 年 (2005)	77.81	85.55	78.79	85.75
平成 22 年 (2010)	78.85	86.20	79.59	86.35
平成 27 年 (2015)	80.44	87.06	80.77	87.01
令和 2 年 (2020)	81.01	87.69	81.49	87.60

【出典】厚生労働省「令和 2 年都道府県別生命表の概況」

【図表 8 不健康な期間（平均寿命と健康寿命の差）の推移】



【出所】平均寿命：平成 27 年完全生命表(厚生労働省)
健康寿命：厚生労働科学研究「健康寿命及び地域格差の要因分析と健康増進対策の効果検証に関する研究」

(4) 社会保障給付費の状況

給付費は増加傾向

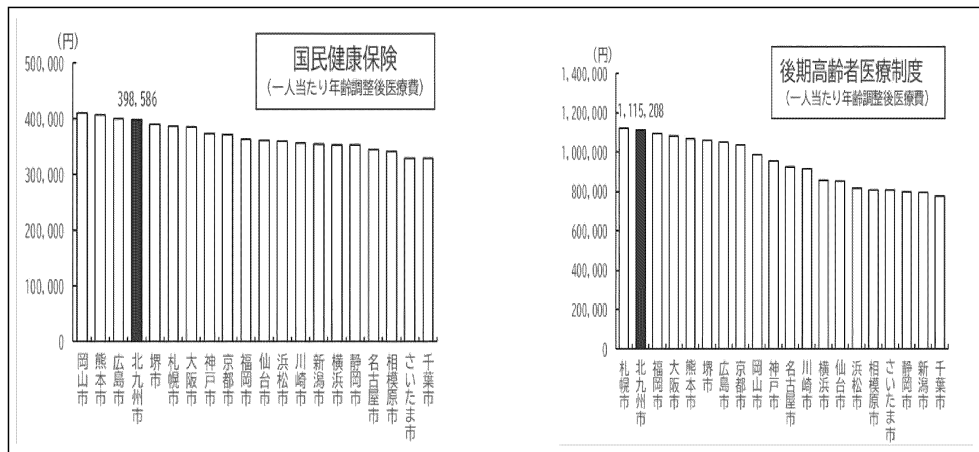
- 北九州市の介護給付費と介護保険料は、介護保険制度が開始された平成12(2011)年度から増加し続けています。
- 令和2年度は、医療費も全国平均を上回り、政令市の中では、北九州市国民健康保険制度の被保険者一人当たりは4番目に高く、後期高齢者医療制度の被保険者一人当たりは2番目に高い状況です。
- 高血圧や糖尿病、脂質異常症等の生活習慣病予防等を目的とした、北九州市国民健康保険特定健診の受診率は、令和4年度35.2%（政令市中4位）、また、健診後に生活習慣の改善を目的に実施する特定保健指導の実施率は20.2%（政令市中6位）でした。
- 85歳以上の高齢者数は令和17（2040）年まで増加する一方で、生産年齢人口（15～64歳）は低下することが予測される中、社会保障制度等を持続するための財源確保が課題となっています。

【表9 北九州市の介護給付費と介護保険料の推移】

計画期間	介護給付費（介護サービス等の費用）※地域支援事業を含む	一般会計からの繰入金額	保険料額	
第一	12年度	343億円	186億円	3,150円 (基準額)
	13年度	427億円		
	14年度	483億円		
第二	15年度	523億円	259億円	3,750円 (基準額)
	16年度	569億円		
	17年度	581億円		
第三	18年度	573億円	286億円	4,750円 (基準額)
	19年度	593億円		
	20年度	613億円		
第四	21年度	659億円	320億円	4,450円 (基準額)
	22年度	691億円		
	23年度	708億円		
第五	24年度	738億円	372億円	5,270円 (基準額)
	25年度	773億円		
	26年度	807億円		
第六	27年度	831億円	395億円	5,700円 (基準額)
	28年度	854億円		
	29年度	888億円		
第七	30年度	917億円	448億円	6,090円 (基準額)
	R元年度	948億円		
	R2年度	952億円		
第八	R3年度	976億円	497億円	6,540円 (基準額)
	R4年度	977億円		
	R5年度	1065億円（予算額）		

2.8倍

【表 10 1人あたりの年齢調整後医療費(令和2年度)】



【出典】医療費の地域差分析(厚生労働省)

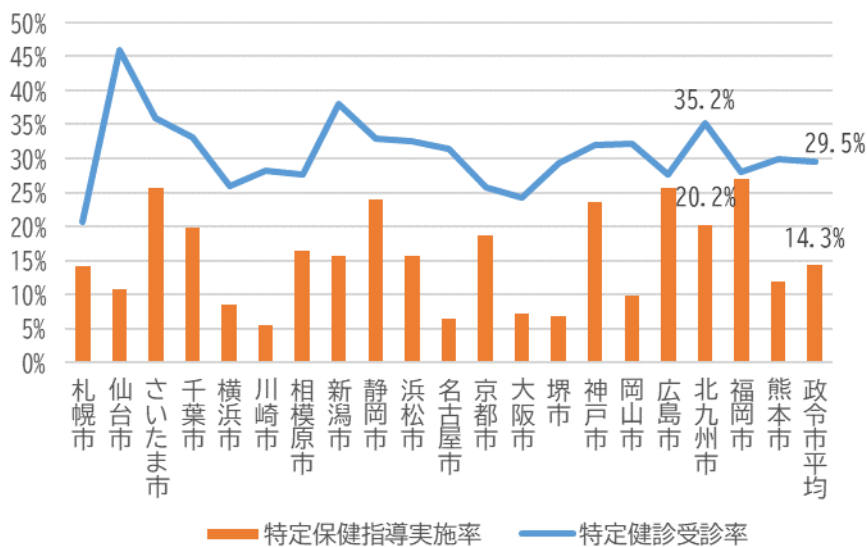
【図表 11 後期高齢者 医療費割合(入院・外来)上位3位(令和4年度)】

入院	
	割合
1 骨折	8.6%
2 脳梗塞	5.2%
3 関節疾患	4.2%
外来	
	割合
1 慢性腎臓病(透析あり)	9.1%
2 糖尿病	7.2%
3 高血圧症	6.1%

【出所】KDB(医療費分析)

【図表 12 特定健診・特定保健指導実施状況(令和4年度)】

(単位: %)



【出所】北九州市

※ 特定健診の受診率: 受診者数/国民健康保険被保険者数(40~74歳)
 特定保健指導実施率: 実施者数/特定保健指導対象者数(40~74歳)

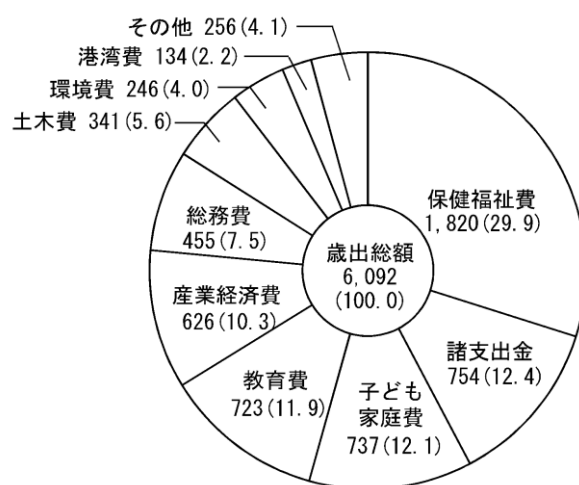
(5) 本市の財政状況

保健福祉費は増加傾向

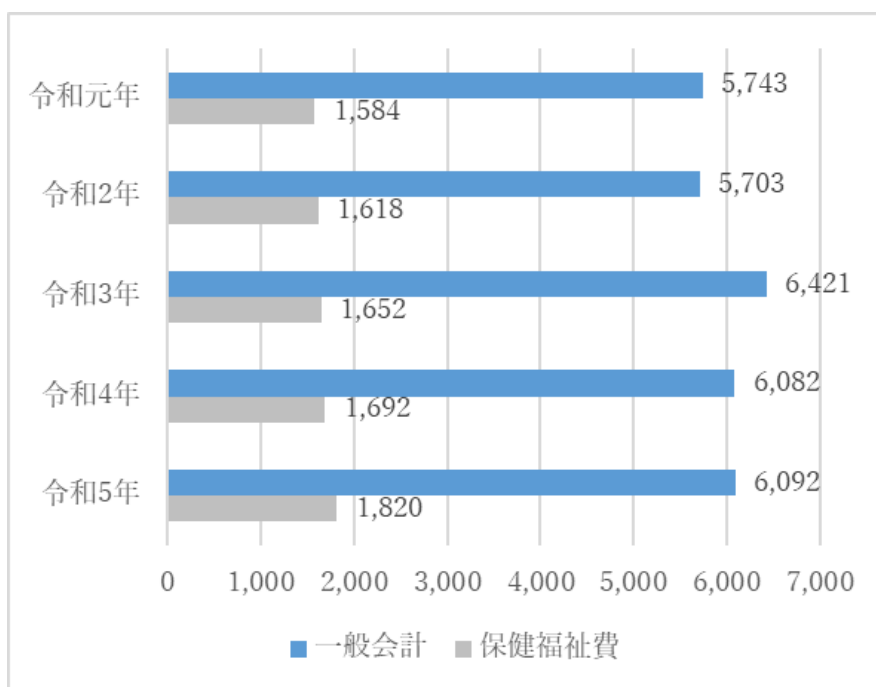
○本市の保健福祉費は一般会計予算の4分の1を超える水準にあり、保健福祉費、特別会計(介護保険)ともに増加傾向にあります。

【図表 13 令和5(2020)年度当初予算】

単位：億円 ()内は構成比



【図表 14 一般会計当初予算の推移】



【図表 15 保健福祉関係当初予算の推移】

(単位：百万円)

